

世界に目を向けよう～今、私たちにできること～

定期学習会の記録

2007/04/21 尾間木公民館

[参加者] 三浦 北野 大内 郡司 橋元 安藤 福島

■尾間木公民館PRポスターの件

三浦が作成する予定。

■講演会依頼の件

- ・ 埼玉新英語教育研究会の浅川氏から依頼があり、三浦が講演予定。
- ・ 資料は、2003年に発表したものをベースに新たに作り直す。次回定例会で紹介予定。

埼玉新英語教育研究会 5月例会

期 日：5月13日（日）午後1時30分より5時

場 所：さいたま市立仲本公民館・講座室1（浦和駅東口より歩7分）

報 告：

「時間・手間要らず、どの学校でも定着高の語彙指導」岡田順子

<http://blog.pelogoo.com/junko1964/>

「世界に目を向けよう～今、私たちにできること」

三浦 直行（和光市立第二中学校）

<http://m-naoyuki.cool.ne.jp/worldfriends/>

参加費：500円

連絡先：浅川（Tel/fax:048-825-1006, e-mail:kasan@mac.com）

■夏のイベントの内容検討

●内容

従来の三本柱は変えずに、新しい学習内容も取り入れる。

○身近にできる国際支援

- ・ 切手、はがき、カードなど。

○海を越えての交流

- ・ 絵、折り紙、手紙の交流。

○世界を知ろう

- ・ 紙芝居、絵本
- ・ 地雷、レプリカ
- ・ 平等な世界を目指して（差別などの問題）
→ 開発教育「公平ってどんなこと」など、子どもにもできる活動を取り入れたい。
大人向けに、学習会で使用した資料なども置きたい。

●日時・場所

以下の内容で実施できないだろうか。

- ・ 2007年8月24日（金）、25日（土）、26日（日）の3日間
- ・ 10：00～17：00
- ・ さいたま市プラザイースト

●宣伝について

- ・チラシ（POP）は、5月上旬に配りたい。
- ・文字を多く入れるよりも、目につくものにしたい。
- ・母校や近隣校には、5月下旬よりPRしたい。生徒会担当者の確認。

●今後の日程について

- 5月 5日 現在ある資料を持ち寄り、内容を検討。
- 19日
- 6月 2日 分担ごとに責任者を決め、作業開始。
- 16日
- 7月 7日 分担ごとに資料を完成させる。
- 21日 リハーサル ★7月中に1回はリハーサルを行い、練習を重ねたい。
- 8月 4日 各分担ごとに調整
- 18日 最終リハーサル
- 23日? 準備

■戦争と差別についての学習（橋元）

- ・「上に立つ者は、普通の人は死んでも構わないと思っている」という記事
- ・日本の憲法は、基本的人権の尊重・国民主権・戦争放棄という柱がある。これが大切だ。
- ・アメリカの自由の女神の足下には、鎖がある。（独立を象徴）
- ・現代社会は貧富の差が拡大している。それが不平不満を生み、そのストレス解消のために弱い者への差別が行われてしまうのではないか。
- ・日本はまだ暮らしやすい。貧富の差といっても、フリーター・ニートまでも生きていける。
- ・とはいえ、社会に出てくる人が、大切にされる必要があるだろう。
- ・チャンスの公平性がなくなってきている。チャンスは平等であってほしい。

■サイパン旅行の話（福島）

- ・戦跡めぐりの旅。
- ・戦車や砲台の残骸が多く残る。
- ・日本語で刻まれた慰霊碑がある。
- ・親子像があるが、それは皇居の方角を向いて建てられている。
- ・最後の日本司令部跡。
- ・崖などには、無数の弾痕がある。

□次回の予定

5月5日（土）

- ・夏のイベントに向けて、現在ある資料を持ち寄って確認する。
- ・「公平ってなんだろう」のアクティビティをやってみる。